

ハンディキャブをより

「通院・外出を支えて下さるハンディキャブ」

… 今まで本紙に寄せられた利用者さんの声(一部を要約)を紹介します …

約8年前2級に認定されてから、Mクリニックへの往復に月2回利用しています。そこはエレベータが無く、階段を運転者さんや介助者さんに腕を支えて貰っています。本当に助かります。

(KNさん：2013年7月)



約6年前に視覚障がい者となり、気落ちしていた私を支えて下さったのは毎月3回のM市民施設でのコーラスサークルです。自宅から会場入り口まで直接送迎していただき、特に雨天の時、安全で安心です。

(YHさん：2013年1月)

私は脳と足腰の病気を持って生まれました。以来多くの方々に助けられながら治療・リハビリの生活をしています。ハンディキャブのお陰で、O公民館での月1回の車いすダンスを楽しんでいます。

(HFさん：2014年9月)

月2回利用しています。現在5か所の病院に通っていて、妻は特別養護老人ホームに入所中で、娘は運転免許を持たないため、安い料金で利用できるハンディキャブには本当に助かっています。

(T Iさん：2015年1月)

仲間

この“おじさん”となら、一緒に仕事が出来そう・・・

事務局員 堀 一恵 (かずえ)

昨年の4月から事務局員の仲間入りしました。まだまだ覚えることがいっぱいですが、よろしく願いいたします。

私は民生委員をやっている関係で時々社会福祉協議会のホームページを覗いています。ある日偶然、相模原ボランティア協会の「事務局員募集」を目にしました。応募し最初に面接していただいた方が守屋さんでした。守屋さんの「出来ますよ。一緒にやりましょう」の一言で「このおじさんとなら・・・」と決めました。

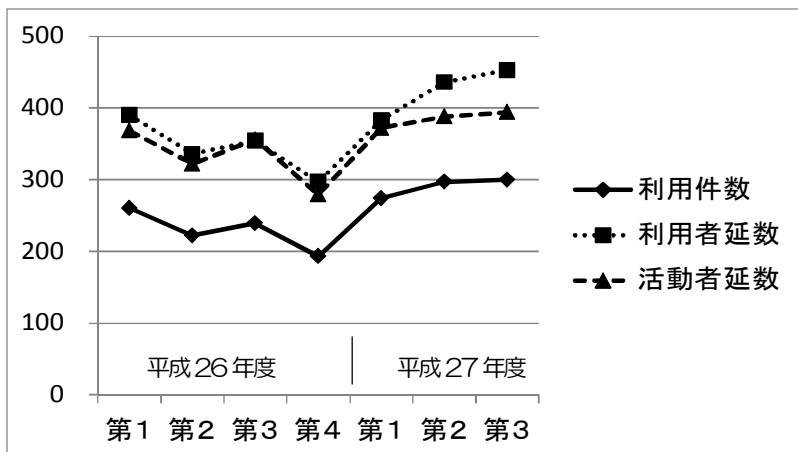
事務局及び事務局サポーターの方々、そして運転者の方々、皆さん優しく対応してくださり、いつも心が洗われる思いを感じています。皆さんと知り合えて、得したあ～！

趣味は30年来やってきた硬式テニスです。週1回仲間と汗を流しています。

運行実績

平成27年度第3四半期 “一般運行実績” まとまりました

第3四半期では、「セダン型」運行(運転者の自家用車を使用する運行)の利用件数の割合は37%でした。



運行ノウハウ

利用者さんの忘れ物

最近利用者さんの忘れ物「眼鏡」「杖」が相次いで報告されています。いずれも乗車されて出発した後に「自宅に置き忘れたこと」に気づき、引き返しました。それ以前には、「上着」や「買物の商品」を目的地に置き忘れた事例もありました。またハンディキャブ号に物を置き忘れて降車された事例もありました。利用者の方の乗車時及び降車時に「優しく」声を掛けましょう。